

ラストステージ

文／加藤健太郎（劇団INTELVISTA）

数か月前、私は死にかけた。病名は心臓動脈菲離。心臓の動脈が脳に向かって上に三十センチ、足の付け根に向かって下に三十センチ、血管が縦に裂けたとのこと。それから病院で一か月、自宅で二か月の療養となった。

これにより、三月と五月に予定していた舞台二本を降板せざるを得なくなった。なかなか舞台に立つことが出来ない昨今の状況の中、かなり楽しみにしていただけに、相当なショックを受けた。そしてまた、搬送があと三十分遅ければかなり危なかったという話を聞いて、ベットで白い天井を見ながら考えたのは、自分にとって最後の演劇活動は何になっていたのかということである。「ラストステージ」や「遺作」「絶筆」という言葉は、よく目にし、ちよつと憧れを覚える言葉であったが、アマチュアである自分にはもちろん、そのどれもが使用することなど出来るわけがないものである。そもそも、演劇活動をしている人間として、いったいどれほどの人に認知されているものやら。

私の演劇活動は、高校の演劇部から数えると、三十五年ちよいになる。この間、毎年一度も休んだことはないのが少し自慢だが、それでも知名度は恐ろしく低い。十年続いた、『はちのへ演劇祭』が、昨年、幕を閉じた。これが始まったとき、八戸に演劇が戻ってきたとい



第十回はちのへ演劇祭 あだけん「待ちながら」

うキャッチフレーズみたいなものを、よく見聞きした。そして、これ以前の期間を「八戸演劇の失われた十年」というらしい。この言葉は正直好きじゃない。この言葉を発している人たちが、自分たちが演劇活動を休んでいた時期を勝手にそう呼んでいるだけと、私は思っている。だって、私はその十年間もちゃんとやってきたのだから。まあ、認知されていたかどうかは別として。

今回、このような病気になって、これまでは薄ぼんやりとしか考

えたことのなかった自分が突然この世を去ったら、何が残されるのかということに思いをはせることとなった。仕事のほうではもちろん、しかしたらある程度、評価していただけるかもしれないが、趣味の演劇のほうでは果たしてどうなのか。脚本もたくさん書いているから、仲間の誰かが作品集の本として出版してくれないかなとか、追悼公演してくれないかなとか、妄想は切りなく広がっていく。そういや、あいみよんの歌の歌詞で、死んでから評価されてもなあって感じのがあったなあ……。

「記憶に残る演技とは何か、記憶に残る脚本とは何か……いろいろと考え続ける毎日である……」

●筆者近況

ちなみにラストステージになったかもしれないのは、はちのへ演劇祭の「待ちながら」で、遺構だったかもは「ジャック・ジェン・イン・ザ・ルーム」でした。

演劇公演

「一本の槍～地方病とたたかった人たち～」

パフォーミングアーツ公演第1弾。東京で活躍中の劇団「鳥と舟」が八戸で初公演。不治の病と言われた未知の風土病を115年かけて撲滅した人々のたたかいの姿を描いたストーリー。【日時】6月25日開演18:00、26日開演14:00 ※開場は各30分前 【場所】八戸ポータルミュージアム はっち 2階シアター 2 【料金】一般前売2,500円、学生前売2,000円、中学生以下前売1,000円 ※当日は各500円増し 【問合せ】八戸ポータルミュージアム はっち ☎0178-22-8228



演劇空間

スペースベン

～演劇好きのための、演劇の場～

※特別番組以外 金曜日は19時30分～、料金は一般前売500円
大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増し)

※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい

八戸市柏崎1-11-8 TEL:080-6025-0990 FAX:050-3588-8350
E-MAIL:owner@spaceben.com URL:https://spaceben.com/



FANS

FRIDAY AMUSEMENT NEGATIVE SHOP
FANS予定▶第1478～1481回

「かたり場」をお送りする予定です。日程等、詳しくはホームページやSNSでお知らせします。

WHAT'S
"FANS"?

多目的スペース「SpaceBEN」にて、毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

— 一般前売500円 / 大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増) —